

令和6年度 外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業

「がん教育外部講師派遣」報告書

学校等名 長崎市立茂木中学校

担当者名 田中 恵美

電 話 095-836-0065

F A X 095-836-1909

実施日	令和 6 年 11 月 1 日(金) 13 : 30 ~ 16 : 30				
場 所	長崎市立茂木中学校体育館				
講座名	講演会 「がん患者への理解と共生」				
講 師	宇賀 達也 氏 及び 甲斐 由美子氏 (がん専門医)・医療関係者・(がん経験者等)				
近隣校 への案内	案内先 長崎市立日吉小中学校・長崎市立茂木小学校 計 2 校				
参加者	児童・生徒 全学年 (59)人	学校職員 (10)人	保護者 (0)人	他校職員等 (0)人	その他 (ピンクリボン関係者 4)人
	総計(73)人				
テーマと 内 容	テーマ「がん患者への理解と共生」 ・専門医による講話(がんという病気について) ・がん経験者による講話(がんと告知されたとき、家族や友人などからの支援)				

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果>

- ・人間の体は毎日細胞分裂が繰り返されている。その中で変異が起こることがある。日本人の 2 人に 1 人ががんになり、死因の 1 位を占める。だれがなってもおかしくない病気である。原因は感染や生活習慣だが、原因不明のものもある。早期発見が大切でがん検診を受けることが大切である。
- ・がん経験者自身の経験から、告知されたときは、衝撃と同時に「いのち」について考えた。自分も周りの人すべてのいのちが大切である。

<今後の取組及び課題>

本校は全校生徒が 67 名と小規模校であり、今後は 3 年に一度がん教育を取り上げて実施していきたい。

今回はがん経験者自身に自分のことを語っていただいた。当事者の話は説得力があり、生徒も真剣に耳を傾けていた。大変貴重なお話を聞くことができた。